

所信表明の概要

まずはこの2年間、皆様には大変にお世話になりました。

大小さまざまな案件がありましたが皆様のご協力のもと、滞りなく議会運営が出来たことに心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

振り返れば「宗教法人世界平和統一家庭連合（旧統一教会）」による多摩市の土地所有の問題から始まりました。市民の不安を払拭すべく市長・行政とともに、多摩市議会としても法人に対し「土地所有に関する申し入れ」を全会一致で可決し、その申し入れを直接、旧統一教会の本部に行き要求してまいりました。対面での申し入れとの事では、相手方もインパクトがあったと思われます。

今でも解散に関する決着がついていませんが、引き続き注視が必要であります。

市役所本庁舎の建替えに関しては議会としても「多摩市役所本庁舎建替基本計画特別委員会」を立上げ、行政視察や数回にわたる勉強会、委員会を行い報告書にまとめ上げ、市への送付となりました。特別委員会のメンバーには感謝を申し上げます。

また、この間、多摩市立中央図書館が令和5年7月にオープンし、これまで多くの来館者と、市外からも多大な称賛をいただいています。さらには先月に中央公園がグランドオープンし、ゴールデンウィークにはイベントも重なり、大変な賑わいとなりました。この2つのオープンに携えたことに関しては良き思い出となっており、今後においても益々の発展を願うばかりであります。

さて、前回の議長・所信表明においてコロナ禍で出来なかった、市民の方々との意見交換や交流などは、コロナ禍以前よりも活発に行われていたと感じております。議会基本条例にあるよう「市民とともに考え、行動する議会（議会への市民参画）、（情報共有と市民意見の把握）」と重要なポイントです。

基本的なことではありますが、地方議員は身近でなければなりません。市民の中に入り直接に意見を伺う、現場をみる事が大切であります。引き続き、より多くの市民の皆様との意見交換や交流を大事にすべきだと思っています。

また今でも、議会は敷居が高いと感じている方も多くいるのではないのでしょうか。そのような壁を低くし、市民の皆様と風通しの良い議会へと更なる努力も必要です。様々な市民団体や組織とは勿論のこと、若い世代や議会への無関心層などへのアプローチも検討すべきです。

それには時代に即した取り組みが必要です。SNS やホームページ、議会だよりなど、わ

かりやすく興味のある情報発信。また発信だけでなくアンケート調査など広聴機能の充実も必要です。

その窓口を広げることで議会と市民との風通しや、関心と評価に繋がります。

風通しとの事では、「議員間での風通し」も重要であります。今までも党派・会派の境なく、協力し合えることについては、しっかりと行ってきた経緯があります。それには情報の共有と議員間での話し合い・協議が必要です。

情報の共有については、LINE を利用して出来る限りの情報量とスピード感を持って対応してきました。議員間での協議についても、全体、会派、代表者、委員会、個別へと案件の状況により協議をさせていただきました。

引き続き、風通しの良い議会を目指し協調をもって取り組んでまいります。

その様な協調があって二元代表制の一翼をになう大きな力になると思われまます。

一つ心配なのが災害時であります。市議会としましても「多摩市議会災害時業務継続計画」いわゆる BCP 計画はしっかりとありますが、災害はいつ何時、どのような災害が起こるかわかりません。能登半島の地震では1月1日に発生しており、まさに「寝耳に水」だったのではないのでしょうか。

その万が一に備え、各議員が日頃の備えや訓練、研修そして更なる意識の強化が必要です。発災時、多くの市民に頼られるのではないのでしょうか。その時も含め、しっかりとシミュレーションすべきです。

結びに、これからの多摩市の課題は多くあります。少子高齢化のもと、子育てや介護・医療。災害をはじめとする安心・安全。将来の財政不安。

一つ一つではありますが、議員の皆様と連携を図りながら、より良い多摩市となるよう、行動する決意です。

また、議会基本条例にあるよう、公平公正な議会運営と市議会全体の代表者として、中立性のある活動を誓い、簡単ではありますが所信表明といたします。